

国語－１０（第３学年） 出来事を説明するスピーチを行う事例

【学習活動の概要】

<p>1 単元名 心に残った出来事を説明しよう</p>												
<p>2 単元の目標 伝えたいことなどから話題を決め、必要な事柄を挙げるとともに、相手や目的に応じて、理由や事例を挙げながら筋道を立て、適切な言葉遣いで話すことができる。</p>												
<p>3 評価規準</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しく説明したいという思いを膨らませ、ふさわしい理由や事例、言葉遣いを見付け出して話そうとしている。</li> </ul> <p>【話す・聞く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活の中で心に残った出来事を説明するために、生活を振り返り、話したい話題を決めている。</li> <li>説明する事柄について自分の感じたことが伝わるように、理由や事例を挙げながら筋道を立てて、話す内容を構成している。</li> <li>出来事の内容を知らない人が聞いても分かるように、冒頭で概説したり、出来事の経過をはっきりさせる言葉を用いたりするなど、話す言葉遣いを考えている。</li> </ul> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指示語や接続語が文相互の関係を表す手掛かりになっていることを理解し、話したり聞いたりしている。</li> </ul>												
<p>4 教材 学校行事等、学校生活に関係する資料、モデルとなるスピーチのビデオ</p>												
<p>5 主な学習活動 (1) 単元の指導計画（全8時間）</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="161 1122 917 1164"></th> <th data-bbox="917 1122 1428 1164">学 習 活 動</th> <th data-bbox="917 1122 1428 1164">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="161 1164 917 1411">第1次②</td> <td data-bbox="917 1164 1428 1411"> <p>◆学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生の一年間の出来事を振り返り、心に残ったことを説明するスピーチをビデオに録画し、保護者に見てもらおうという課題を設定する。</li> <li>昨年の3年生の紹介ビデオや教師によるモデルを見て、どのような学習活動をしていくのか、どんな工夫が必要かを考え、見通しをもつ。</li> </ul> </td> <td data-bbox="917 1164 1428 1411"> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な相手や目的をイメージできるようにする。</li> <li>学校生活を様々な視点から振り返り、出来事の中から伝えたい内容を決定したり、取材内容・方法等を決めたりできるようにする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1411 917 1657">第2次④</td> <td data-bbox="917 1411 1428 1657"> <p>◆スピーチの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明に必要な材料の要点をメモし、整理する。</li> <li>取材したことを基に説明する事柄について理由や事例を挙げながら筋道を立てて話す内容を構成する。</li> <li>出来事を体験していない保護者が聞いても分かるように、言葉遣いについて考え、発表原稿を書く。</li> <li>リハーサルを行う。</li> </ul> </td> <td data-bbox="917 1411 1428 1657"> <ul style="list-style-type: none"> <li>整理する際は、メモした材料を内容ごとに分類し、伝えたい思いにふさわしいものを選べるようにする。</li> <li>説明する相手に応じた言葉遣いを考えるようにする。</li> <li>リハーサルでは説明したい事柄に合った理由や事例になっているか、適切な言葉遣いになっているか相互評価する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1657 917 1794">第3次②</td> <td data-bbox="917 1657 1428 1794"> <p>◆発表会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ録画を行い、お互いの説明の工夫点について交流する。</li> </ul> </td> <td data-bbox="917 1657 1428 1794"></td> </tr> </tbody> </table>		学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点	第1次②	<p>◆学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生の一年間の出来事を振り返り、心に残ったことを説明するスピーチをビデオに録画し、保護者に見てもらおうという課題を設定する。</li> <li>昨年の3年生の紹介ビデオや教師によるモデルを見て、どのような学習活動をしていくのか、どんな工夫が必要かを考え、見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な相手や目的をイメージできるようにする。</li> <li>学校生活を様々な視点から振り返り、出来事の中から伝えたい内容を決定したり、取材内容・方法等を決めたりできるようにする。</li> </ul>	第2次④	<p>◆スピーチの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明に必要な材料の要点をメモし、整理する。</li> <li>取材したことを基に説明する事柄について理由や事例を挙げながら筋道を立てて話す内容を構成する。</li> <li>出来事を体験していない保護者が聞いても分かるように、言葉遣いについて考え、発表原稿を書く。</li> <li>リハーサルを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理する際は、メモした材料を内容ごとに分類し、伝えたい思いにふさわしいものを選べるようにする。</li> <li>説明する相手に応じた言葉遣いを考えるようにする。</li> <li>リハーサルでは説明したい事柄に合った理由や事例になっているか、適切な言葉遣いになっているか相互評価する。</li> </ul>	第3次②	<p>◆発表会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ録画を行い、お互いの説明の工夫点について交流する。</li> </ul>	
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点										
第1次②	<p>◆学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生の一年間の出来事を振り返り、心に残ったことを説明するスピーチをビデオに録画し、保護者に見てもらおうという課題を設定する。</li> <li>昨年の3年生の紹介ビデオや教師によるモデルを見て、どのような学習活動をしていくのか、どんな工夫が必要かを考え、見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な相手や目的をイメージできるようにする。</li> <li>学校生活を様々な視点から振り返り、出来事の中から伝えたい内容を決定したり、取材内容・方法等を決めたりできるようにする。</li> </ul>										
第2次④	<p>◆スピーチの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明に必要な材料の要点をメモし、整理する。</li> <li>取材したことを基に説明する事柄について理由や事例を挙げながら筋道を立てて話す内容を構成する。</li> <li>出来事を体験していない保護者が聞いても分かるように、言葉遣いについて考え、発表原稿を書く。</li> <li>リハーサルを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理する際は、メモした材料を内容ごとに分類し、伝えたい思いにふさわしいものを選べるようにする。</li> <li>説明する相手に応じた言葉遣いを考えるようにする。</li> <li>リハーサルでは説明したい事柄に合った理由や事例になっているか、適切な言葉遣いになっているか相互評価する。</li> </ul>										
第3次②	<p>◆発表会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ録画を行い、お互いの説明の工夫点について交流する。</li> </ul>											
<p>(2) 本時の学習（本時4～5／8）(①全体 ②③④グループ ④⑤個人)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①前時の学習内容を振り返り、本時の学習を確認する。</li> <li>②取材内容を基に、根拠や事例としてどの内容をどのように使うかについて話し合う。</li> <li>③全体の構成や発表の効果を考え、グループ内で役割を分担する。(進行・説明等)</li> <li>④分担ごとに発表原稿を書き、グループ内で紹介し推敲する。 (資料とその提示方法についても考える。グループによっては②～④を繰り返して行う。)</li> <li>⑤学習を振り返り、成果や次時の課題について考える。</li> </ol>												

## 【解説】

### 【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「A 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。」「イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。」を取り上げて指導するものである。

その際、「A 話すこと・聞くこと」の言語活動例に示す「ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。」の「出来事の説明」を通して指導することにより、指導の効果を高めた事例である。

### 【言語活動の充実の工夫】

「説明」は様々な場面において用いられる言語活動である。国語科においては、言語活動を通して指導事項を指導することとなる。そのため、当該単元で指導する内容を確実に身に付けられるように、どのような「説明」を言語活動として位置付けるのかを吟味することが大切になる。

本事例においては、重点的に指導すべき国語の能力を確実に身に付けるために、学習の過程に応じて、次のような工夫を行っている。

#### ① 話題設定の指導の工夫

○説明する「出来事」として、身近な学校生活を取り上げるとともに、その中から話題を選ぶため、様々な観点から学校生活を振り返られるようにしている。

(観点例)・今まで友達や家族としていたけれど、初めて一人でできるようになったことはないか。

・いつもしてきたことだけれど、最近、初めて気付いたこと、改めて感じたことはないか。 など

○伝えたい思いを膨らませながら、説明の仕方を工夫するため、「保護者（家族）」に向けてスピーチを行うなど、伝える相手についての意識をもたせる。

○学校生活での出来事について説明するスピーチに対して、見通しをもつことができるように、昨年度の3年生や教師のモデルスピーチを提示する。

#### ② 構成の工夫

○実際に出来事を見たり体験したりしていない保護者にも、その様子が詳しく伝わるように、次のような構成を踏まえるようにする。

・どんなことについて説明するのか、スピーチの冒頭部で概説する。

・出来事を経過に沿って説明し、中心となる部分については理由や事例を具体的に挙げてスピーチする。

・伝えたい出来事と事例との結び付きが明確か、感じたり考えたりしたことの理由付けが明確かなどの観点から、構成について相互に評価する学習を位置付ける。

・結論の部分では、出来事を通して感じたことや考えたことを述べる。

○構成と言葉遣いを相互に考えていく柔軟な指導過程をとる。

#### ③ 言葉遣いの工夫

○発表原稿を書くことを通して、相手（保護者）に応じた言葉遣いを考えられるようにする。

・出来事を経過をはっきりさせる言葉や、理由や事例を挙げていることを明示する言葉を用いながら、構成と照らし合わせて発表原稿を書いていく。

・実際に声に出して、様子が伝わるかを確かめながら言葉遣いを考えていく。

・ビデオで録画することにより、自己評価の際に観点を決めて自分のスピーチを何度も確認できるようにする。

#### ④ 説明することのよさを実感できるようにする工夫

○ビデオを視聴した保護者から感想を聞くことにより、説明することのよさを実感し、次の学習への課題意識を明確にもてるようにする。